四倉新報

發行日二回 毎月 一日 十五日
編輯兼發行人 小林庫二
福島縣石城郡四倉町中町四十一番地 發行所 四倉新報社
福島縣石城郡平町田町三十一番地 印刷所 一〇活版所
本紙定價一部十錢 月貳拾錢(年二圓)

高燭電燈料金の大値引を斷行せる四倉電氣株式會社 人氣沸騰し忽ち應募數二千二百口

◎模範電氣會社の創業

四倉町外一町六ヶ村が、日常欠く可からざる、燈火の恩惠を蒙るところの四倉電氣株式會社は、大正三年三月資本金五萬圓にて、創立され、大正十四年七月、一躍資本金五拾萬圓に增資せられ、十四星霜を經て今日に至り、其の基礎愈々鞏固である。

事業が年と共に伸展しつゝあるは、同社の爲め祝福するとともに又地方事業界の爲め模範とす可きに足るものである。

同社現在の營業區域は、四倉町、久之濱町、大浦村、大野村、大久村、廣野村、木戶村龍田村であつて、其需家數は約五千戶である。點燈數は約一萬六千燈、電力は二百九十五馬力(二百二十キロ)、諸積立金二萬三千八百圓、現在資產實に五十八萬七千餘圓の巨額に達せる成績を示して居る。

如何に同社が堅實にして地方稀に見る最良の會社なるかは、讀者の容易に斷定の出來得る所である。

◎地方稀に見る

低廉なる電燈料金

社會文化の發達と產業の進展を計るには、先ず電力の經濟的應用に覺醒せなければならない。

四倉電氣株式會社社長新妻盛氏は、社會奉仕と親切大一主義とに立脚し、公益事業たるの使命を全うせんとし專心努力されつゝあるのであるが、先ず農村振興と電化、家庭電化の民衆化を現實せしむむが爲め、卒先して廉價にして豐富なる電力を供給されつゝあるのである。

同社が獨專事業であるにも係わらず、社會奉仕の意味に於て、進むて地方稀に見るところの低廉なる電燈料金を徵收しつゝあると云ふ事は感謝の外は無い。

今回の第一回高燭燈勸誘の如きも應募燈に對し、從來より低廉なる上、又々一燈に付き十錢の大値引されたのであつて新妻社長の英斷により地方民の一齊に感激す可き事である。

× ×

尙同社は時代の要求に伴ひ近くメートル制を斷行し一般需家の爲めに奉仕す可く目下準備中である。

◇見ある記◇

◎畏れ多き事ながら先帝陛下御腦重しとの報に接し國民一齋に御快癒を御祈り申上たのであるが就中四倉電氣社長新妻氏の熱誠なる御全癒祈願振りは實に感嘆の外はない。社內に設置しあるラジオの放送せられる時々刻々の御容體を拜聞する爲め自宅より毎夜。最後の放送迄詰め切り心を痛め齋戒沐浴の上御平癒を御祈りされて居たが見る者皆襟を正しうせざるは無かつた。

◎二月廿六日神谷村小學校を記者は訪問した。雨あがりの泥濘の道を、やうやうに學庭へ着た時午前十一時卅分、昇降口の階段の處で下駄の泥を、紙で[illegible]き取り其紙を無意識に捨てんとせる舜間に掃き清められたる校庭、磨き出された樣な床板、塵一本も無く實に氣持が好い。此れが生徒の最も深山居る時間だから感ぜずに居られ無いか紙くづを捨てんとした自分が恥しかつた。

× ×

四倉電氣の謝恩大奉仕 福引抽籤發表

四倉電氣株式會社では本年一月二十日以來、同社需用家各位、平素の御同情に對する謝恩奉仕の意味で本年第一回の高燭電燈の大値引と其他數々の特典を提供して募集中であつたが大人氣沸騰の下に忽ち豫定數の二千口に達し規定通り需用家代表各町村一名宛と四倉在住の新聞記者立會の上嚴正に福引抽籤を執行された。

立會人氏名 四倉町吉田彌十郎、久之濱高木元唯、大久村新妻茂平、廣野村猪狩長、木戶村永山運平、大野村幕內貞良、大浦村根本甚吾、龍田村大和田貞吉、福島毎日吉田壽三郎、茨城日報關淸一郎、磐城時報渡邊米藏、四倉新報小林芳月。

A號第九回復興債券當選番號左の如し

一等當選(拾圓券一枚)
龍田村 猪狩久男
同

第九回復興債券
二等當選(五圓券一枚)
同 猪狩茂右衛門

三等當選(商品券三圓一枚)
同 緒方正治

B號第九回復興債券
一等當選(五圓券一枚宛)
(一ノ組より五ノ組迄共通)
同 四十一番
同
同
同

二等當選(商品券三圓一枚宛)
同 六十五番
同
同
同

AB號共に
三等當選(銘入御手富貴一本宛)

但AB號一二等當選者を除き申込者全部へ進呈
賞品は都合により四月十日より福引券と引替に贈呈至

[illegible]可く當選者は會社に申出でを願うと

盛會なりし 四倉電氣會社 福引抽籤發表披露會

別項の如く四倉電氣會社の高燭勸誘も大人氣を博し忽ち豫定數二千口を超過する事二百口、二千二百口の福引抽籤發表披露會を海氣館に於て擧行された新妻社長の挨拶あり各町村代表の謝辭來賓總代の謝辭あり、それより宴會にうつり余興として藝者の手踊來賓の隱藝等あり非常に盛會であつた需用家代表も來賓も同社の厚き接待にすこぶる滿足の体であつた

?紅燈?

忠臣屋 喜ちゃん

喜ちゃん姉さんは、年輩から行つても一流だし、豐滿の肉体の點から言うても。四倉町の花柳界では、兎に角一流どころと推擧せなければ成るまい。喜ちゃん、あの、眼が實に好い而かし曲物だ。曾て初對面に於て、役塲の○長のスーさんがトロリと骨拔きごじうにされた眼だそうだ。スーさんは腰辨でてく／＼何十年……やうやく取つた恩給四百何がしを。此の喜ちゃんに注ぎ込むんだと。驛附近の、なーさんは又喜ちゃんの豐滿の肉体……横臼の工合を禮讃して御百度を踏んで居られるとさ。

れ』と云う御神託あつたので喜び勇んで歸り內の御前さんで無く姉さんに物語り先づ赤の御飯でもと御祝したとは目出たしく

我輩は電燈である

我輩の前任者はランプ君であつた。此のランプ君元來病身であつたので隨分手數がかゝつたと云ふ事である。ギヤマン製のホヤを械き、油壺に石油を注し、眞を切り其れで初めて點燈出來るので、之れを每日／＼掃除せなければ點燈出來ないのだからきらわれるのも無理は無い而し我輩の無かつた時はランプ君も隨分威張つたさうだ。

我輩の勤務もなか／＼つらい、毎日夕方四時五時には必ず勤務に付へて明朝迄で休憩なしだから、たまら無いが、之れも公衆の爲めさ思うから氣持好く奉公して居るのである。而かし其勤務場所によつてなか／＼つらい。

雨の日風の日雪の日には實に街燈勤務はいやだと思ふが、料理屋の座敷、蕎麥屋の座敷勤めと來ては事更に難有くないが、面白い事もある。

昔しは砂糖の費消高に依つて其地方の文明が明瞭であつたそうだが今では我輩の需用數の多少に依て其地方の文化の程度が表示さるのであるから我輩も喜ばしい譯だ。

昔から明るい處では惡事は行われた、ためし無く惡事は暗い處と定まつた者だ。我輩即ち電氣屋を憎むものは惡人であると斷定する事が出來る。

附記 我輩は電氣である、の記事に紙面の都合で短かくしましたが後日に改めて揭載致します。

御知せ

先般來宣傳中の高燭勸誘は各位の御同情によりまして好成績の下に締切を致しました、此段厚く御禮を申上ます、兼て皆樣の御手許に差上て置きました福引抽籤券は本月十日本社內に於て執行されまして本紙別項の通り當籤致しました、此當籤番號と符合の抽籤券を御所持の御方は景品引替の時迄大切に御保存を願ます、景品引替は五月十日と規定してありましたが都合上繰上げまして來る四月十日より本社に於て贈呈致します御遠方の御方は抽籤券を御郵送下されば早速景品を御屆け致し升

三月十日

四倉電氣株式會社